

令和2年7月16日 00491号

編集者:佐藤寿春

北見武道通信

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp



ニュースレター【事務局情報】

覆面の剣士 コロナの影響で、しばらく活動休止となっていた団体がしだいに武道館に戻ってきました。北見剣心館少年部は、ガイドラインに従った、面マスク着用での稽古を行っています。自粛中、「素振り」を行っていたという子供たちは、先生の掛け声に合わせて、竹刀を手に、息も切らせることもなく、**機敏**に身体が動いていました。覆面の剣士を思わせる少年剣士は、ちょっとカッコよく見えます。稽古終了後には、「早く

稽古がしたかったのです、とても楽しかったです」と笑顔で取材に応じてくれました。(佐藤)

モモンガ事件! 7月12日(日) 武道館に電話が繋がらなくなる事件が起きました。原因は、武道館



の柱に住む「モモンガ」とのことです。東陵公園内に生息する「モモンガ」が電話ケーブルをかじったようです。朝、武道館職員がホームページのアップが出来ず、固定電話もつながらないことに気づきます。報告を受け、武道館に電話をかけても、『この地域の電波異常か電源が切られています』と自動音声ながれるばかりです。どうやら武道館だけが連絡が取れなくなっているようでした。原因が分かったのは、午後5時ころ! 午前11時に駆けつけたドコモ関連業者2人と

※撮影者:佐藤堅一NTT 東日本の1人が、午後3時ころ通信ケーブルをたどって外の配線を調べたところ、**雑**

木林を通過させるケーブル部分を補強するため、直径約6センチ長さ5メートルほどのカバーが取り付けられており、その中でモモンガが巣作りをして断線させたようです。約半日以上、通信機能が不能となり、復旧作業も6時間以上かかり大変だったと思われませんが、可愛いモモンガの仕業に、作業員の皆さんは微笑むばかりでした。



武道振興協会事務局の花シリーズ「ペチュニア」 自宅前のペチュニアに朝日が浴びていたので、つい写真に収めて紹介してしまいました。(佐藤)

連載嘉納治五郎師範の教え 柔道の教育的価値「柔道を教育に役立てることについて」⑥

この新局面(実際の肉体的な強さではなく、バランスを失っている彼の状況)では、相手は通常ならば10あるのに、言ってみれば、その瞬間の強さの表示はたったの3くらい迄弱まっているでしょう。私の方は彼がそのような状況に陥ったその瞬間も、バランスを保っており、力もその俣ですから、強さの表示は元の7を示しています。その時、ほんの一瞬間ですが、私は優位な立場にあり、相手の3に対するに自分の強さのたったの半分、即ち7の半分もしくは3+1.5で相手を倒すことが出来るのです。私の力の半分は他の目的に使うために残しておけます。私の力が相手より強い場合には、勿論相手を後ろに押せましょう。しかしこのような場面でも相手を後ろに押そうと思ったとき、そのように力を使える場面でも、・・・**つづく**(講道館ネット配信より)